

第2期しあわせ実感かかみがはら

総合戦略（案）への意見と市の考え

人口減少、少子高齢化が急速に進展する中、人口減少対策と地方創生に切れ目なく取り組むため、「第2期しあわせ実感かかみがはら総合戦略（案）」を公表し、下記のとおりパブリックコメントを実施しました。

その結果、5名の方からご意見をいただきました。いただいたご意見と市の考え方は次のとおりです。

◆実施期間

令和2年2月7日（金）から2月28日（金）まで

◆意見の提出状況

提出者数 5名 22件

ご意見1

対象箇所	P5 各務原市における「総合計画」と「総合戦略」の関係
ご意見	
「総合戦略は、総合計画に掲げた将来都市像や基本理念を踏まえ、計画に体系付けた施策・事業を、人口ビジョンにおいて示した「人口減少に歯止めをかける上で重要な方向性」の観点から整理し、人口減少対策に寄与する戦略目標や主要施策などの施策体系に再編・再構築した計画である。」 上記文章の中に地方創生という言葉がないのは、「人口減少対策と地方創生に切れ目なく取り組むため」という総合戦略の趣旨から見て不自然であるので再考いただきたい。	
各務原市の考え	
地方創生については、2頁 策定の趣旨において、市の最上位計画であり、総合戦略と密接な関係にある「総合計画」スタート直後の平成27（2015）年10月に策定した「しあわせ実感かかみがはら総合戦略」は、総合計画と同様の背景と目的を持つものであり、総合計画の考え方、施策の方向性をベースに、国において掲げられた「まち・ひと・しごと創生」政策5原則を踏まえ、人口減少対策と地方創生の確実な実現の観点から再構築したものである。」と記載しており、5頁の枠囲みの部分は策定の趣旨等を要約したものです。ご意見を踏まえ、下記のとおり加筆いたします。	

【加筆する記述】

5 頁 「総合戦略は、(中略)人口減少対策と地方創生に寄与する戦略目標や主要施策などの施策体系に再編・再構築した計画である。」

ご意見 2

対象箇所	P 6 SDGs (SustainableDevelopmentGoals : 持続可能な開発目標)
ご意見	
SDGs (SustainableDevelopmentGoals : 持続可能な開発目標) については丁寧な説明があるが、Society5.0 (第 5 期科学技術基本計画) についての説明がないのでその必要性について再考されたい。	
各務原市の考え	
SDGs を第 2 期総合戦略による取り組みの前提事項として取り上げていることから丁寧な説明を掲載しました。 わかりやすい計画とするため、全体的に用語説明を記載することとし、Society5.0 については 2 頁に下記のとおり追加します。 【追加する記述】 <u>Society5.0 : 内閣府の第 5 期科学技術基本計画において、我が国が目指すべき未来社会の姿として提唱されたもの。「サイバー空間 (仮想空間) とフィジカル空間 (現実空間) を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会 (Society)」とされる。AI、IoT 化といったデジタル化の進展による全体最適の結果、社会課題解決や新たな価値創造をもたらすとされている</u>	

ご意見 3

対象箇所	-
ご意見	
第 1 期総合戦略において、将来人口の目標を「人口ビジョンにおける人口の将来展望を踏まえ、また、計画期間内に取り組む事業の成果を見込み、平成 31 年時点で 145,500 人とする。」と定めているが、第 2 期総合戦略には将来人口の目標がないのは腑に落ちないのでその必要性について再考いただきたい。	
各務原市の考え	
総合戦略は、人口ビジョンを前提としたものであることから、ご意見を踏まえ、下記のとおり追加します。 【追加する記述】 6 頁 <u>(4) 将来人口の目標</u> 総合計画の目標人口である令和 6 (2024) 年に 145,000 人の定住人口を確保しながら、人口ビジョンにおいて人口の将来展望とした令和 42 (2060) 年に 120,000 人の人口を維持していく。	

ご意見4

対象箇所	-
ご意見	
今後はSDGs（SustainableDevelopmentGoals：持続可能な開発目標）に関する施策の具体化に取り組まれるよう要望します。	
各務原市の考え	
国全体の機運も高まり、SDGsの実現に向けて大きく動き始めていると考えています。SDGsはすべての関係者が、主体的に、そして連携して初めて実現されるものです。本市も県や他市町村と連携し、歩調を合わせながら取り組んでまいりたいと考えております。	

ご意見5

対象箇所	P7 施行体系
ご意見	
施策体系には、「1. 総合戦略は人口減少対策としての計画で、人口減少という課題の解決に寄与する。2. 時代の潮流を踏まえた、新たな視点の取り組みを進めていく。」と述べられているが、本総合戦略（案）の内容には、私は大いに不満があります。 人口減少対策としては、 ①出生率の向上 ②流出人口の減少（流入人口の増加）（本文に記載を） ③人口減少を補填する技術の確立 を考えます。	
各務原市の考え	
そのように考えており、流出人口の減少についても本文に明記しております。	

ご意見6

対象箇所	P10 施策の柱1. 産業 （1）工業の振興
ご意見	
（追記をする） 地球環境問題としてプラスチックごみの削減が指摘されている。現実には多量に利用されているプラスチックごみを市町村単位で削減する方法が求められていると考えている。 ≫重点施策 ◎市町村単位で可能な対策として、プラスチックごみの分別回収が考えられる。市内の化学技術を持つ企業と協力し、焼却ではなくリサイクル又は再燃料化できるプラスチックを特定し、分別回収する仕組みを構築する。 （具体例案） 1. PP製の包装容器の単独回収とリサイクル 2. ボトル以外のPET製の包装容器の単独回収とリサイクル	

3. 混合素材の中でアルミ不使用の包装容器の単独回収と新規技術による再検査燃料原料化（未開発の新技术）

≫重要業績評価指標

■分別回収できたプラスチック種1種以上

各務原市の考え

北清掃センターでは、サーマルリサイクル※1を狙いとして、プラスチックごみを焼却処理の際の補助燃料として利用できる高温ガス化熔融炉を導入しています。この方法は化石燃料の使用を大幅に抑えることができ、ごみ処理施設を最も効率よく運転できるため、今後もこの方法によりごみ処理をしままいりますので、ご意見については追加いたしません。プラスチック類の排出を少なくすることは重要であると考えております。

今後におきましては、世界的に見てもプラスチック製品の使用そのものについて規制がかけられてきていることから、国の動向を注視してまいります。

なお、本市では、平成20（2008）年からレジ袋の有料化を導入しており、ペットボトルの分別収集、食品トレーの店頭回収など、プラスチックごみの削減に努めており、今後も引き続き啓発してまいります。

※1 サーマルリサイクル…廃棄物を単に焼却処理せず、焼却の際に発生する熱エネルギーを回収・利用すること。

ご意見7

対象箇所	P10 施策の柱1. 産業 （2）商業等の振興
ご意見	
(追記をする) ≫重点施策 ◎商業・サービス業の振興 スーパーの巡回バスによる送迎や昔ながらの巡回販売等の交通難民のための販売手段を支援する。	
各務原市の考え	
買い物環境を維持していくためには、地域における商業の活性化を図るとともに、公共交通や福祉と合わせて取り組んでいくことが重要です。こうした点について、総合戦略では、10頁 施策の柱1. 産業 （2）商業等の振興において、魅力ある商店づくりや地域に密着した商業・サービス業の振興の支援について、28頁 施策の柱2. 産業(4) 良好な生活環境の整備において、多様な交通サービスが相互に連携した一体的な公共交通ネットワークについて明記しております。 ご意見のありましたスーパーの巡回バスや巡回販売等は、一部地域で民間事業者によって実施されております。直接的な支援の予定は現時点ではありませんが、公共交通ネットワークの形成にあたっては、市が運行するふれあいバスについて、民間スーパーが行	

う移送サービスとの共存を前提としながら、商業施設へのバス乗り入れ等、地域からの要望を踏まえた改正に取り組んでおり、引き続き、利便性の向上と買い物施設への足の確保に努めます。

令和2（2020）年度からは、交通サービスの一つとして、民間技術を活用した新たなデマンド交通システム（アイシン精機：チョイソコ）を一部地域で導入、その効果を検証し、買い物をはじめ外出に関するさらに細かな要望にお応えするための仕組みづくりや高齢者等の外出機会の創出に取り組んでいく予定です。

ご意見 8・9

対象箇所	P11 施策の柱 1. 産業 （2）商業等の振興
ご意見	
<p>（追記をする）</p> <p>ご意見 8</p> <p>≫重点施策</p> <p>◎持続的農業の推進</p> <p>無農薬、減農薬などの個性ある農業を支援し、市の特産物として市場の拡大に寄与する。また、雇用の受け皿に期待する。</p> <p>ご意見 9</p> <p>≫重点施策</p> <p>◎新たな農業形態の支援</p> <p>耕作放棄地を利用した、全自動型植物工場を活用した地産地消農業を、市内企業や学校給食関連企業と協働で行い、働く意欲のある高齢者の働く場所を提供する。</p>	
各務原市の考え	
<p>関連するご意見のため、一括して回答いたします。</p> <p>市では、従来から、関係機関と連携し、化学肥料および化学合成農薬の使用量を従来の栽培と比べて削減した栽培である「ぎふクリーン農業」の取り組みを促進しております。また、「耕作放棄地を利用した全自動型植物工場」の設置の予定はありませんが、機械化等による生産性向上や地産地消の推進は重要であると考えております。ご意見を踏まえ、下記のとおり追加いたします。</p> <p>なお市では、令和元（2019）年度から、高齢者の生きがいつくりや介護予防、就農等につなげることを目的に農福連携事業をスタートしております。高齢者の生きがいつくりや社会参加促進については、市総合計画において位置付けているほか、11 頁の◎持続的農業の推進「（略）～意欲ある担い手の確保、新規就農者の育成～（略）」には、高齢者も含まれております。</p> <p>【追加する記述】</p> <p>11 頁 ◎持続的農業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA ぎふ等の関係機関との連携を強化し、機械化や IoT の活用などによる生産性の 	

向上や安全で安心な農産物の生産を促す。

・市民農園など市民が農業を体験できる場を通じて地域農業への理解を深めるとともに、学校給食における地元産の農産物の利用を促進するなど、地産地消を推進する。

ご意見 10

対象箇所	P12 施策の柱 2. 雇用・就労 (1) 雇用・就労
ご意見	
(追記をする) ≫重点施策 ◎子育て女性の在宅勤務の環境整備 市内企業及び市役所・関連機関での在宅勤務可能業務量の調査・把握。進歩する通信技術を活用し、人口減少による働き手不足を在宅の子育て女性で補填する。 ≫重要業績評価指標 ■業務量が、子育て女性の3人・1年以上	
各務原市の考え	
市では、事業所と一体となって、生産性の向上や人材育成のほか、女性に限らず、在宅勤務も含めた多様な働き方の実現を通じ、労働力不足の解決に取り組む「働き方改革」を推進しているところです。こうした「働き方改革」の啓発活動や、女性の再就職やキャリアアップに関する支援（セミナーや合同企業説明会）等により、女性の就労支援に取り組んでまいります。 こうした主旨は、12頁 ◎就労を支援する環境整備の「広域的な事業展開や、女性、高齢者の就労支援に取り組む。」に含まれております。	

ご意見 11

対象箇所	P13 施策の柱 3. 人材育成－ (2) 次代を担う人材の育成
ご意見	
(追記をする) ≫重点施策 ◎次代を担う人材の育成 （追記）子どもたちが、本市の教育を支える現場を体験し、教育の重要性を認識し、次代の各務原市の教育を担う人材を地域で育てる「地育地就」を推進する。 ≫重要業績評価指標 ■各務原市立中学校卒業生の市内保育所、幼稚園、小学校、中学校への就職者数〇人	
各務原市の考え	
市では、中学校において、技術・家庭科（家庭分野）の「幼児の生活と家族」の学習及び、職場体験学習の一環として、生徒が保育所、幼稚園を訪問し職場体験を行う機会を設けております。今後もこうした社会体験の機会を活用しながら、児童生徒一人ひと	

りが持っている可能性を引き出すことにより、自己肯定感を高め、社会に貢献しようとする人間が育まれる教育を推進してまいります。

なお、職場体験学習は、市内教育機関等への就職のみを目的としたものではないことから、重要業績評価指標は追加いたしません。

ご意見 1 2

対象箇所	P14 戦略目標②〈子育て・教育〉
ご意見	
(追記をする)	
<p>人口減少の最重要項目である出生率の向上に有効な対策は見出だせていない。これに対しては、子供を産み育てる重要性が認識されていない事が問題と考え、その原因を適切な性教育が実施できていない事と推定し、適切な性教育を幼児期からの適切な年齢に対し実施するカリキュラムを作成する。</p> <p>適切な性教育とは、①命の大切さ、②子育ての楽しさ、③育てられた感謝の気持ち、である。</p> <p>数値目標 出生率基準値</p>	
各務原市の考え	
<p>ご意見のような考えは持っておりませんので、反映はいたしません。</p> <p>なお、本市の小中学校における性教育につきましては、県が作成した手引きに従い、児童生徒の発達段階に応じ、特別活動や道徳、保健体育の授業などで、性に関する指導を進めております。</p>	

ご意見 1 3

対象箇所	P16 施策の柱 2. 子育て（1）子育て家庭を支える環境づくり
ご意見	
(追記をする)	
<p>全ての女性が、この仕組みがあれば、私でも結婚・妊娠・出産して、子育てができると思える環境を整備する事が重要である。</p> <p>≫重点施策</p> <p>◎手厚い支援の中で子育てができる場の創出</p> <p>両親が障害を持っている家庭やひとり親家庭が安心して子育てができる施設を新設する。また、親はこの施設内で働いたり、施設退出後の職業訓練も受けいれる施設であれば、望ましい。</p> <p>≫重要業績評価指標</p> <p>■本施設が、令和6年度に開所する。</p>	
各務原市の考え	
<p>全ての女性が安心して妊娠・出産・子育てができると思える環境整備に関しては、15</p>	

頁の「施策の柱1. 結婚・妊娠・出産」（2）母子保健の充実、16～17 頁の「施策の柱2. 子育て」（1）子育て家庭を支える環境づくり、（2）地域ぐるみの子育て支援体制の強化、（3）ワーク・ライフ・バランスの充実に明記しています。

ご意見いただきました施設について、現時点では整備の予定はございませんが、自立した生活が困難な母子世帯である場合には、ご本人が望めば母子生活支援施設にて自立した生活を目指し入居いただいております。その他の経済的に困窮した世帯につきましては、生活困窮者自立支援事業や生活保護にて経済的に自立できる生活を送れるよう支援しております。

また、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行うことを目的に平成 30（2018）年に整備した母子健康包括支援センター「クローバー」を中心に関係機関と連携した取り組みをはじめ、妊娠・出産・育児に関する情報提供を行うマタニティ広場事業、乳幼児健診事業、出産後の育児に不安を抱える方への産後ケア事業などの継続した支援を進めてまいります。

ひとり親家庭等の社会的配慮を必要とする家庭への支援に関しては、看護師などの資格取得を支援する高等職業訓練促進給付金事業などの就労支援や児童扶養手当の支給や医療費の助成などの経済的支援等を引き続き実施してまいります。

障がいを持つ夫婦等に関しては、基幹相談支援センター「すまいる」を核として、関係機関と連携した支援を行うとともに、就労支援コーディネーターによる適切な就労支援や障がいの状況に応じた手当の支給、障がいサービスの提供に継続して取り組んでまいります。

ご意見 14

対象箇所	P16 施策の柱2. 子育て（1）子育て家庭を支える環境づくり
ご意見	
<p>（追記をする）</p> <p>（1）子育て家庭を支える環境づくり</p> <p>≫重点施策</p> <p>◎子育てを学ぶ場の充実</p> <p>小学校、中学校、高校の授業の中で性教育と並んで、子育てを学び、子育ての楽しさを実感できる場を新設する。</p> <p>≫重要業績評価指標</p> <p>■本教育を令和4年に開始する。</p>	
各務原市の考え	
<p>子育てを学ぶ場の充実については、16 頁 ◎子育てを学ぶ場の充実に、出産前の夫婦や子育て中の親子を対象とした、子ども館における各種講座や子育てに関する講演会の取り組みについて明記しています。従いまして、ご意見いただきました小学校、中学校、高校の授業の中で、子育てを学び、子育ての楽しさを実感できる場の創設について追記いたしません。</p>	

ご意見 15

対象箇所	P17 施策の柱 2. 子育て(2)地域ぐるみの子育て支援体制の強化
ご意見	
<p>(追記をする)</p> <p>≫重点施策</p> <p>◎地域ぐるみの子育て支援体制の強化</p> <p>保育所、認定こども園、幼稚園で働く教諭の労働環境を支援し、保育の質に関わる最低条件を維持する。</p> <p>≫重要業績評価指標</p> <p>■待機児童（隠れ待機含む）ゼロを達成、維持する。</p>	
各務原市の考え	
<p>市内の保育所、認定こども園等の質の確保に関して、保育人材の確保や午睡センサー等の導入による保育士等の精神的負担の軽減に向けた取り組みを進めております。こうした取り組みに関しては、16 頁の「施策の柱 2. 子育て」（1）子育て家庭を支える環境づくりの「保育・幼児教育の質の確保に努める」に含まれています。</p>	

ご意見 16

対象箇所	P17 施策の柱 2. 子育て(2)地域ぐるみの子育て支援体制の強化
ご意見	
<p>(追記をする)</p> <p>≫重点施策</p> <p>◎地域ぐるみの子育て支援体制の強化</p> <p>子ども食堂を地域と行政で支え、行き場の無い子どもを、子ども食堂が食事、対話、教育の補助が行えるよう支援する。</p> <p>≫重要業績評価指標</p> <p>■行政が支援する子ども食堂数及び支援金額。</p>	
各務原市の考え	
<p>子ども食堂に関しては、子どもが安心して過ごすことができる居場所づくりを進めるとともに地域住民の交流拠点の整備を促進することを目的に、令和元年度より「子ども食堂支援事業補助金」を創設し、子ども食堂の開設や運営にかかる経費の一部を助成しています。また、子ども食堂を運営している、もしくは運営したいと考えている団体の方々の相談等にも応じています。ご意見を踏まえ、下記のとおり加筆いたします。</p> <p>重要業績評価指標については、支援件数や支援金額が増えることが、施策の成果を測る指標になるとはいえないため、設定いたしません。</p> <p>【加筆する記述】</p> <p>17 頁 ◎地域ぐるみの子育て支援体制の強化</p> <p>・地域が運営する親子サロンや子育てサークル、<u>子ども食堂</u>などを支援することで、より安心な子育て環境の整備と地域のつながりづくりを推進する</p>	

ご意見 17

対象箇所	P19 施策の柱 3. 教育（2）安心して学べる教育環境づくり
ご意見	
<p>（追記をする）</p> <p>安心して学べる教育環境づくりは、先生方の労働環境が適切であることが前提である。近年、指摘されている先生方の過重労働下では、子どもに適正な教育を行うことなど考えられない。そのためには、先生方の労働環境を正確に把握し、人員配置を助言する組織を整備する。</p> <p>≫重点施策</p> <p>◎教職員労働時間管理センターの新設</p> <p>教職員経験者を含まない、教職員全員（管理職を含む）の労働時間を管理し、授業準備の時間を十分に確保する人員配置を適宜、助言する。</p> <p>≫重要業績評価指標</p> <p>■先生方全員（管理職を含む）の時間外勤務時間○時間以下</p>	
各務原市の考え	
<p>勤務時間管理の徹底や校務の効率化等、教職員の働き方改革に取り組んでおります。なお、「教職員労働時間管理センター」設置の予定はございません。</p>	

ご意見 18

対象箇所	P24 施策の柱 2. 定住（1）市民協働によるまちづくりの推進
ご意見	
<p>（追記をする）</p> <p>≫重点施策</p> <p>◎対話によるまちづくり</p> <p>行政の担当者が授業に訪問し、小学生、中学生が考える、「将来、私が住むまちづくり」とする実習を行い、学生の提言をまちづくりに反映させる。</p> <p>≫重要業績評価指標</p> <p>■将来のまちづくりに反映する提言数</p>	
各務原市の考え	
<p>市職員による出前講座メニューには、小中学生を対象とした「未来の各務原市のつくり方」という講座があり、学校から依頼がありましたら、総合学習の時間や社会科の授業などで、未来を担う子どもたちとまちづくりについて考える講座を行っており、数多くの提言やご意見をいただいているところです。また、市民と市長がまちづくりについて意見交換を行う「まちづくりミーティング」を市内各地で開催し、高校生や大学生の団体等からも様々なご意見やご提言をいただいています。</p> <p>重要業績評価指標については、市総合計画において、「市民皆様のアイデアやご意見が市政に反映されていると感じる市民の割合」を達成指標として設定し、その進捗管理</p>	

を行っていることから、追加はいたしません。

ご意見 19

対象箇所	P24 施策の柱 2. 定住（1）市民協働によるまちづくりの推進
ご意見	
<p>（追記をする）</p> <p>≫重点施策</p> <p>◎協働によるまちづくり</p> <p>地球温暖化対策として、市民と協働により、生ゴミを肥料化する等の方法により、市が収集する可燃ごみを削減する。</p> <p>≫重要業績評価指標</p> <p>■令和2年度に収集量の30%削減（令和6年度）</p>	
各務原市の考え	
<p>本市では、これまでもごみ減量に関する啓発を行っていますが、ごみを減らすための取り組みとして、市民の皆様には「生ごみの水切り」や「食品ロス削減」などと呼びかけているところです。</p> <p>生ごみの堆肥化については、堆肥を活用できる方は自主的に行っていると考えられますが、堆肥を活用できない方は積極的に行わないと考えられます。そのため、加筆については考えておりませんが、生ごみの堆肥化に取り組みやすいよう、引き続き市ウェブサイトにおいて、つくり方を紹介するなどしてまいります。</p>	

ご意見 20・21・22

対象箇所	P25～26 (2) 文化芸術・スポーツ活動の充実
ご意見	
<p>ご意見 20（文化活動施策に対する意見）</p> <p>各務原市は、産業、教育、芸術文化のバランスが取れている都市のように見えますが、芸術文化の拠点施設がないのが残念に思います。</p> <p>○芸術文化の拠点施設の建設を望む理由</p> <p>各務原市は、地理的にも自然環境的にも生活しやすい市であり、いわゆる文化人も多い市でありながら、文化的な活動や盛り上がりが見えてこない。芸術文化施設ができれば、その様相が必ずや変わってくるものと思います。</p> <p>各務原市は点としては、あちこちで文化活動は行われています。それが線として、繋がってこない。拠点施設があれば、おのずと線としてつながり文化活動が盛り上がってくるように思います。</p> <p>近隣市町村には、少なからず芸術文化施設があります。そこには美術文化の協会もあつたり、活動も盛んに行われています。</p> <p>芸術文化施設が実現すれば、各務原市の文化活動も盛んになり、魅力的な各務原市になるものと思います。</p>	

ご意見 2 1 (文化活動施策に対する意見)

各務原市には産業文化施設としてスケールの大きい航空宇宙科学博物館がありますが、市民よりもむしろ市外域からの利用者が大勢であるように思えます。一方、芸術文化・歴史遺産施設の拠点となる専門施設は、残念ながら現在建設されておりません。

現在、市には発掘品など多くの考古歴史遺物もありますし、一方で横山潤之助や坪内節太郎はじめ寄贈された絵画作品も多数あります。これらの一部は小規模に公開されていますが、その拠点となる施設はありません。都市間競争が今後激しくなる中、魅力あるまちづくりを推進していくために歴史・芸術文化の拠点施設としての美術・博物館の建設を実現していただくよう、ぜひ検討をお願いしたく存じます。

幸い各務原市は施設建設にふさわしい景観地が中心部などに点在しており、観光的観点からもプラスになると思います。産業文化施設と歴史・芸術文化施設の両輪があつてこそ、都市の魅力は倍増するものと信じます。

ご意見 2 2 (文化活動施策に対する意見)

一時期(20~25年前)各務原市において美術館建設の検討がされていましたが、自然消失となっています。当市内には、市及び個人が所有する優れた芸術作品が数多くあります。また、日展の入選者含め美術愛好家が多数居住し活動されています。残念なことに、これらの拠点となる美術館がありません。全国的にも15万人規模の市ではほとんど美術館を持っています。

各務原市の文化芸術の発展のため、ぜひとも美術館の設置を強く願います。

各務原市の考え

同様のご意見のため、一括して回答いたします。

美術館などの芸術文化施設の建設については、平成29(2017)年8月に「各務原市の文化振興のあり方」について検討した際、伝統文化を将来にわたり守りつたえるという取り組みは非常に大切であり、文化財資料や市所蔵美術品展示の充実を図っていききたいとの考えを示しました。また、文化財、文化芸術、生涯学習を推進するセクションが相互に連携しながら、当面は現在ある施設、市内に点在する文化資源を有効活用し、常設展示に加えて、中長期的な企画展を計画的に実施していく考えも示しています。

よって、現在のところ、建設の予定はありませんが、ご意見のとおり、文化芸術・スポーツ活動が盛んに行われることは市の魅力向上に繋がると考え、その充実について推進していきたいと考えております。

なお、本市では、平成30(2018)年度から市内の既存施設や史跡・文化財を積極的に活用しながら、博物館の中身をテーマごとに分散して展示し、市域全体で博物館を仕立てていく「スマートミュージアム」事業を展開しております。

各務原市の文化振興のあり方

<http://www.city.kakamigahara.lg.jp/12583/21258/019155.html>